

館長のガラストーク



「可能性のうつわ II」
三浦和(2013年)

三浦和「可能性のうつわ II」2013年

妖精の森ガラス工房で制作を行っている三浦和さんの作品の特徴として、たっぷりとしたガラスの塊による量感(ボリューム感)の表現や、植物の芽吹きのような柔らかい有機的なフォルムが挙げられます。今回の展覧会のために作られたこの作品では、さらに新しい色ガラスの可能性が模索されています。

中央が窪んだ円筒形の本体から、上の方ではオレンジ色の、下の方では紫色の丸いパーツがサボテンの腕のように突き出ています。これは、器のような形をした熱い色ガラスの中にウランガラスを流し込んで作ったもので、オレンジや紫とウランの薄い黄緑色が混じり合って不思議な色調を生み出しています。

色ガラスの組み合わせによって生まれる色は、あらかじめ計算した通りのものもあれば、予想外の面白い結果になるものもあります。三浦さんは、偶然性も取り込みながら、今後も新しい色ガラスの可能性に取り組んでいくことに強い意欲を示しています。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

<展覧会情報>上齋原で作られたウランガラス“ウランガラスの光りと輝き”展 2013年4月3日(水)~2013年7月8日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888



美作国建国1300年記念事業



美作国建国1300年記念事業 開幕記念式典

5月5日(日)、津山文化センターにおいて、開幕記念式典が開催され、美作地域10市町村から関係者約1200人が参加しました。

式典では、実行委員長の宮地昭範津山市長のあいさつの後、名誉会長の伊原木隆太岡山県知事があいさつをされました。美作国と同じ713(和銅6)年4月3日に建国した大隅国(鹿児島県)からは、鹿児島県霧島市長が出席。丹後国(京都府)からもメッセージが届きました。

また、建国時に都が置かれた奈良県のマスコットキャラクター「せんとくん」も登場し、美作国キャラクター「かたみくん」にお祝いのメッセージが贈られました。

記念講演では、長野県小布施町にある酒造場社長で、地域活性化に一生懸命取り組んでいるアメリカ出身のセーラ・マリ・カミングスさんが、「一度切れた伝統文化の循環を取り戻すのは難しい。あきらめるのは簡単だが、どうすればできるのかをみんなで考えることが大切。」と話していました。



◆お問い合わせ先

〒708-0052
岡山県津山市田町3715
美作建国1300年記念事業実行委員会
電話(0868)351-3434
FAX(0868)351-3434
E-mail: info@minasakal300.org/
http://www.minasakal300.org/

かたみくん10市町村を巡る

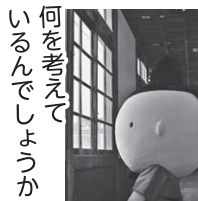
新庄村編

●ひめつ子と...



真庭市編

●旧遷喬尋常小学校



奈義町編

●那岐山麓山の駅

農業体験や手作り体験ができるよう、コテージや研修室を併設した滞在型リゾートスポットです。



★奈義町といえば、NARUTOーナルトー
様々なNARUTOーナルトー関連イベント開催中
http://www.mimasaka-naruto.jp/